

表-3.3 共同実験に使用した混和剤

混和剤の種類	混和剤のタイプ		混和剤メーカー					
			朝フローリック	ボソリスソリューションズ	日本シーカ	花王 山本化学	山本化学・リグエス	竹本油
AE減水剤 (高機能タイプ)	-	標準形	フローリックSV10	マスターポリヒード15S	シーカメントJ	ヤマソー02NL	リグエスVF200	チューボールEX60
			フローリックRV10	マスターポリヒード15SR	シーカメントJS	ヤマソー02NL-P	リグエスVF200H	
		(収縮低減タイプ)	標準形	フローリックSV10K	マスターポリヒード15DS	-	ヤマソーDS-X	-
	フローリックRV10K			マスターポリヒード15DSR	-	ヤマソーDSR-X	-	チューボールLS-AR
	遅延形		フローリックRV10	マスターポリヒード15HR	シーカメントJR	ヤマソー02NLR	リグエスVF200R	チューボールEX60R
	高性能AE減水剤	-	標準形	フローリックSF500S	マスターグレンニウムSP8S	シーカメント1100NT	マイティ3000S	-
フローリックSF500R				マスターグレンニウムSP8SV				
遅延形			フローリックSF500R	マスターグレンニウムSP8R	シーカメント1100NTR	マイティ3000R	リグエスSR1000	チューボールHP-11R
			フローリックSF500K	マスターグレンニウムSP8RV				
(収縮低減タイプ)		標準形	フローリックSF500SK	マスターグレンニウム800S	シーカメント1100NT-AS	-	-	チューボールSR
		遅延形	フローリックSF500RK	マスターグレンニウム800SR	シーカメント1100NTR-AS	-	-	チューボールSR-R
(増粘剤一液タイプ)		標準形	フローリックSF500F	マスターグレンニウム8500	シーカメント1100NTV	ヤマソーV1-FT	-	チューボールHP-70

共同実験により確認された性能を以下に示す。

以後表記されている混和剤の記号の意味は以下の通りである。

AES : AE 減水剤標準形 AER : AE 減水剤遅延形

SPS : 高性能 AE 減水剤標準形 SPR : 高性能 AE 減水剤遅延形

また、実験に使用したコンクリートの代表的な調合は表-3.4 に示す通りである。

なお、追加実験においては、主として遅延形の混和剤を使用している。

表-3.4 コンクリートの基本調合（大阪広域協組）

呼び強度	スランプ (cm)	W/C (%)	単位水量 (kg/m ³)	単位セメント量 (kg/m ³)	混和剤の種類
24	15	57	178	312	AE減水剤
	18	57	180	316	高性能AE減水剤
	21	57	185	325	高性能AE減水剤
36	18	44	180	409	高性能AE減水剤
	21	44	185	420	高性能AE減水剤
45	18	36	180	500	高性能AE減水剤
	21	36	185	514	高性能AE減水剤

a. コンクリート温度の運搬時間による変化量

図-3.1 に運搬時間とコンクリートの温度上昇量の関係を示す。データ数は446であったが、4℃を上回るものが4データあった。いずれも同一地域のデータであったため、生コン車のドラムの色、気象条件または測定誤差などによるものと考えられる。

コンクリート運搬中の温度上昇量は、運間時間が150分(2:30)の範囲において、概ね4℃以下であった。